

ひょうぶ(企業探訪)

2022学生が聞く

包装事業でシェア拡大

もとはブラウン管の検査機メーカーだが、薄型テレビの普及で苦境に陥り、転身した。食品や化粧品などのフィルム包装機で着実にシェアを拡大し、企業や商品のPR映像の制作など新事業を積極展開する。関西学院大総合政策学部の安熙錫教授のゼミ生が、岡田耕治社長(53)を訪ねた。

「長くブラウン管の検査機を製造していた。」

「よかったのは社長に就いた1999年ごろまで。2001年から一気に低迷しました。プラズマ画面用の検査機を受注したが、中国や韓国、台湾のパワーがすごく、勝負したら負けると思いました。戦略とは『戦いを省略すること』と、違う市場を探しました」

「01年、フィルム包装機、トルネードを発売した。」

「実は、多くの商品は包装を変えるだけで売り上げ

日本テクノロジーソリューション(神戸市中央区) 岡田耕治社長(53)



岡田耕治社長(左)に包装技術のことを聞く関西学院大3年の宮澤北斗さん。本テクノロジーソリューション

を増やせます。包装事業なら、資産と外部環境の変化を掛け合わせれば、できると思っただけです。電機業界以外の市場を開拓してみた思いもありました」

「まず神戸・ポートアイランドで01年9月にあった展示会『国際フロンティア産業メッセ』に出展を申し込みました。開催までの3カ月で完成させ、出展に間

「まず神戸・ポートアイランドで01年9月にあった展示会『国際フロンティア産業メッセ』に出展を申し込みました。開催までの3カ月で完成させ、出展に間

「製品や技術のことは、メーカーが説明した方が伝わると思います。08年から始めました。こだわるのは、い



2018年に完成した本社社屋

メモ

1976年創業。高砂工場、東京支社など。社員数37人。2022年9月期の売上高は7億1400万円。23年春は10人を採用予定。神戸市中央区港島南町7の2の8。☎078・304・4439



かに魅力的に発信するか。新事業は、問題発見から解決までお手伝いするという理念の下で始めます。目指すのは、幸せのスパイラルを提供できる企業です」

「課題や問題に挑戦し、解決できる人材を育てたい。それができればAI(人工知能)も怖くないはずですよ」(まとめ・大盛周平)

兵庫県内の企業と大学生の就職マッチングを支援する「Mラボ」事業(神戸新聞者主催)の一環で、学生が5社を訪ね、経営者らに話を聞きました。就職活動の参考にしてください。

◇次回は14日に掲載しま